

2010.11.18「呆れた大臣達のリスト」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

11月17日から、予算委員会が参議院に回ってきました。今日の昼から4時間にわたり、外交防衛問題においての集中審議が行われました。こちらはテレビで放映されているので見られた方もおられると思いますが、今の菅内閣は酷いです。私は、その中で罷免要求すべき人間は一体何人いるのだろうと数えてみました。結果、なんと10人以上いました。

具体的には、まず菅総理です。全ての責任は菅総理にありリーダーシップ不足です。それから、仙谷官房長官です。この方も尖閣諸島問題を始め、言い訳が白々しく、法匪と言っていいような三百代言です。法律論をしていますが、そもそも政治家としてのモラルがありません。そして、柳田法務大臣にいたっては、先日からテレビ等に出ていますが、『大臣としては「捜査中である」、「法と証拠に基づいてやっている」この2つの言葉だけを言えれば良い』という発言をしています。誠実に答弁するという気が始めから無く、大臣失格であり、辞任は当然で議員も辞職すべきだと思っております。そして、今日新たにわかったことは、北沢防衛大臣の言論統制問題です。11月3日、入間基地での自衛隊の式典において、民間人の方が「現在の民主党政府には問題点がある」という発言をしました。その発言に対して、「今度から民主党政府批判をする人はもう呼ぶな」と、政務三役が徹底してそれぞれの部隊に通達したそうです。

これは言論統制以外の何ものでもありません。それを政治家が強要しておきながら、自衛隊の政治的中立性を守る為だという詭弁をしています。また、岡崎トミ子国家公安委員長ですが、言うまでもなく売国です。韓国で反日活動に参加して、その事に関して未だに反省がありません。さらに、高木文部科学大臣は朝鮮人学校の問題があります。朝鮮人学校は朝鮮総連が財政・経理全てを握っていると答弁しています。しかし、朝鮮総連は拉致をした北朝鮮の意志で動いているのです。そこに金銭を補助するということは、拉致問題を抱えている日本として、ありえない話です。それを平然と行おうとしています。当然、辞職してもらわなければなりません。そして、馬淵国土交通大臣は海上保安庁の事件です。海上保安庁の長官が辞任をさせられるならば、当然馬淵国交大臣も政治的責任を取らなければなりません。また、今日前原外務大臣の答弁を聞きました。前原外務大臣が国土交通大臣の時に粛々として国内法でやると発言していたにもかかわらず、外務大臣に就任すると、政府が粛々とせずに解放してしまった問題について何の説明もありません。自分は国交大臣としてはきちんと責任を果たしたということで、責任を免れられる話ではありません。前原外務大臣は、全てにおいて無責任な発言をしつ放しです。高速道路の無料化に始まり、JALの法的整理、現在の海上保安庁の話もそうでした。当然辞めるべきです。そして、ご存じの蓮方行政刷新大臣です。事業仕分けに関しては、「はやぶさ」を無駄と仕分けしておきながら、「はやぶさ」が小惑星「イトカワ」

から物質を持って帰ってきたということが明らかになりましたが、この問題は
どう責任を取るのでしょうか。それから、野田財務大臣です。この方は、デフ
レ宣言をしておきながらデフレ対策はなく、円高においては見守るというだけ
で何もしません。これは財務大臣としての当事者能力の欠如と言えます。

この様なことを考えると、他にも政策の失敗は多くあり、切りがありません
が、少なくとも問題が有る大臣だけで10名います。これは、菅内閣の政権担
当能力が無いということを如実に証明しています。今は予算の審議をしていま
すが、然るべき時期に参議院として全大臣に問責決議をしなければならないか
もしれません。我々は大臣について主要閣僚に問責決議をして、菅内閣のいい
加減さを国民の前で明らかにしたいと思います。

皆様方の御支援をお願いしたいと思います。ありがとうございました。